

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価

平成28年12月19日

計画の名称	昭島市における安全、安心の推進		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	昭島市
計画の目標			

下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・下水道による浸水対策達成率を41.1%（H22末見込み）から44.9%（H27）に増加させる。
- ・施設（ポンプ場）の耐震化・改築更新の達成率を100%とする。
- ・管路施設耐震対策達成率を10.9%（H22末見込み）から58.2%（H27）に増加させる。
- ・管路施設長寿命化計画策定のための基本構想策定達成率を0.0%（H22末）から100%（H27）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)							
①下水道による浸水対策達成率 整備すべき全体計画面積：1,379ha 整備済面積：567.29ha 達成率=整備済面積（ha）/ 整備すべき全体計画面積（ha）	567.29ha 41.1%	576.49ha 41.8%	619.46ha 44.9%							
②施設（ポンプ場）の耐震化・改築更新実施達成率 耐震化・改築更新を実施すべき施設数：1箇所（ポンプ場） 耐震化・改築更新を実施済みの施設数：0箇所（ポンプ場） 達成率=耐震・改築更新を実施済みの施設数 / 耐震・改築更新を実施すべき施設数	0箇所 0.0%	1箇所 100.0%	1箇所 100.0%							
③施設（管路）耐震対策実施達成率 耐震対策を実施すべき箇所：1,094箇所（人孔） 耐震対策を実施すべき箇所：1,094箇所（人孔）実施済みの箇所：104箇所（人孔） 達成率=耐震対策を実施済みの箇所数（人孔）/ 耐震対策を実施すべき箇所数（人孔）	104箇所 9.5%	372箇所 34.0%	637箇所 58.2%							
④管路長寿命化計画策定達成率 長寿命化計画基本構想を策定すべき面積：1,378ha 長寿命化計画基本構想を策定済み面積：0ha 達成率=長寿命化計画基本構想を策定済みの面積 / 長寿命化計画基本構想を策定すべき面積	0.0ha 0.0%	0.0ha 0.0%	1,378ha 100.0%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,783百万円	A	2,783百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事業評価（事後評価）

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	平成28年10月25日実施 公表の方法 市のホームページにて公表
外部評価委員3名体制で実施。	

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
多摩川上流処理区																
A1-1-1	下水道	一般	昭島市	直接	昭島市	残堀川第3排水区枝線（浸水対策）	φ800～1100 調査設計	昭島市							12	
A1-1-2	下水道	一般	昭島市	直接	昭島市	中部排水区幹線・枝線（浸水対策）	φ700～2400 L=1,877m	昭島市							1,738	
A1-1-3	下水道	一般	昭島市	直接	昭島市	西部第1排水区枝線（浸水対策）	φ450～800 L=346m	昭島市							38	
A1-1-4	下水道	一般	昭島市	直接	昭島市	東部排水区幹線・枝線（浸水対策）	φ1000～1800 L=340m	昭島市							206	
A1-1-5	下水道	一般	昭島市	直接	昭島市	郷地ポンプ場耐震・改築更新	耐震化及び電気・機械設備更新	昭島市							361	総合対策計画
A1-1-6	下水道	一般	昭島市	直接	昭島市	下水道管渠耐震化事業（耐震対策）	管口の可とう化 402人孔	昭島市							319	総合対策計画
A1-1-7	下水道	一般	昭島市	直接	昭島市	下水道管渠長寿命化対策事業	調査・計画策定	昭島市							11	長寿命化支援制度
合計												2,685				
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
合計																
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
合計																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・浸水対策を実施した結果、約51haについて浸水からのリスクが軽減された。 ・ポンプ場の耐震・改築更新が完了したことにより、南部第1処理分区（170.2ha、計画人口13,250人）の老朽化に伴う故障からのリスクが軽減された。 ・管路施設の耐震化を図ることにより、避難所等19施設の災害時におけるリスクの軽減を図ることができた。 ・長寿命化基本構想を策定したことにより、今後の事業計画の策定に反映することができる。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① 【下水道による浸水対策 達成率】	最終目標値	619.46 ha 44.9 %	目標値と実績値 に差が出た要因	都市計画道路の用地買収の遅れにより、一部未施工となったため。
		最終実績値	618.8 ha 44.8 %		
	指標② 【施設（ポンプ場）の耐震化・改 築更新の達成率】	最終目標値	1 箇所 100 %	目標値と実績値 に差が出た要因	H23年度末において、耐震化及び改築更新が完了し目標を達成できた。
		最終実績値	1 箇所 100 %		
	指標③ 【管路施設耐震対策達成率】	最終目標値	637 箇所 58.2 %	目標値と実績値 に差が出た要因	事業費の不足により、5年間で533人孔の対策を予定していたが、402人孔の対策実施となった。
		最終実績値	506 箇所 46.2 %		
	指標④ 【管路施設長寿命化計画策定のた めの基本構想策定】	最終目標値	1378 ha 100 %	目標値と実績値 に差が出た要因	H27年度末において、供用開始区域1,378haの基本計画を策定し目標を達成できた。
		最終実績値	1378 ha 100 %		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・今後においても、浸水対策を進め浸水に対するリスクの軽減・解消を図り、安全・安心なまちづくりに努めていく。 ・長寿命化基本構想が策定できたことから、今後は調査を実施し計画策定・対策工事を図り、安定した下水道事業の継続に努めていく。 ・今後発生し得る大規模地震に備え、引き続き管路施設耐震対策に努めていく。 					